# 特許協力条約

	REC'D	0 MAR	2006
	WIPO		PCT
	REC'D 1	<b>9</b> MAR	2006
+	WIPO		PCT

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

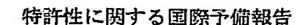
(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人 のむ類記号 F-2173	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/017363	国際出願日 (日.月.年) 22.11.2004	優先日 (日.月.年) 21.11.2003
国際特許分類(I P C) Int.Cl. G09F13/20	0(2006.01), G08B5/00(2006.01), G09F13/	<i>12</i> (2006. 01)
出願人(氏名又は名称) イージープライト株式会社		
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条)の	この国際予備審査機関で作成された国際予( )規定に従い送付する。	備審査報告である。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	と含めて全部で3 ページ	からなる。
3. この報告には次の附属物件も添付され a. 附属書類は全部で	れている。 ページである。	
	礎とされた及び/又はこの国際予備審査機 PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参	
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し	したように、出願時における国際出願の開 た差替え用紙	示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b. 電子媒体は全部で		(電子媒体の種類、数を示す)。
	ように、電子形式による配列表又は配列表	に関連するテーブルを含む。
4. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。	
	報告の基礎	
□ 第Ⅱ欄 優先権		
F. Int.	生又は産業上の利用可能性についての国際	予備審査報告の不作成
第IV欄 発明の単一性の	D欠如 35相合よる無視は、迷れ地では卒業しの利	田可能性についての目解を打を窜付
▼ 第V欄 PCT35条(2) けるための文稿	に規定する新規性、進歩性又は産業上の利 みなが説明	
第VI欄 ある種の引用		
第VII棚 国際出願の不住		
第VII欄 国際出願に対	する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 10.06.2005	国際予備審査報告を作成した日 01.03.2006
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 2T 9815
日本国特許庁 (IPEA/JP)	秋山 斉昭
郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3266

## 特許性に関する国際予備報告

第1欄	報告の基礎
1 辛生)	に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。
	上願時の言語による国際出願
F. 1	出願時の言語による国際出願 出願時の言語から次の目的のための言語である語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
	国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
ſ	国際公開 (PCT規則12.4(a))
·	国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))
2. この た差	報告は下記の出願哲類を基礎とした。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され 替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
Į.	出願時の国際出願書類
	明細書
	第ページ、出願時に提出されたもの
	第一 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第
	請求の範囲
-	第 項、出願時に提出されたもの
	第       項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの         第       項*、         所       付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第
	図面
<b>8.</b> J	<b>笠</b> ページ/図、 出願時に提出されたもの
ļ	第 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第 付けで国際予備審金機関が受理したもの
	配列表又は関連するテーブル
<b>[</b>	配列表に関する補充欄を参照すること。
з. П	補正により、下記の書類が削除された。
	明細書 第
	配列表(具体的に記載すること)
	■ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)
4.	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70. 2(c))
	~°~~3"
	□ 明細書 第 <u> </u>
	「 請求の範囲 第 <u> </u>
	配列表 (具体的に記載すること)
	配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)
1	
* 4.	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。



国際出願番号 PCT/JP2004/017363

. 見解			
新規性(N)	請求の範囲	3-4	
	請求の範囲	1-2, 5	
進歩性(IS)	請求の範囲	3	
	請求の範囲	1-2, 4-5	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1~5	有
	請求の範囲		無

#### 文献及び説明(PCT規則 70.7)

文献 1: JP 3085227 U(株式会社サンクレスト) 2002. 04. 26

文献 2: JP 11-70359 A(トリニティ工業株式会社)1999.03.16

文献 3: JP 2001-27883 A(株式会社光洋) 2001.01.30

文献 4: JP 2002-341796 A(関西日本電気株式会社) 2002. 11. 29

#### 請求の範囲1-2、5

文献1には、

蓄光材料よりなる模様が付された透光性の第1のパターン層部及びフィルターとを有する発光表示体と、

当該発光表示体を、液晶及びその照明を有するディスプレイの表示面に装着使用してなる表示構造体が記載されている。

上記フィルターは光の透過を何らかの形で制限する光透過制限層部であり、上記液晶は平時表示用の透光性のパターン層部であるところ、

文献1に記載された上記発光表示体及び表示構造体は、請求の範囲1-2,5に記載された発明に相当する。

#### 請求の範囲1-2

文献2には、蓄光材料よりなる模様が付された透光性の第1のパターン層部と、平常時表示用の第2パターン層部とを備えてなる表示構造体が記載されている。

文献3には、光透過制限層部、透光性のパターン層部及び発光部を、この順で備えた表示構造体が記載されている。

よって文献3に記載された表示構造体に文献2に記載された第1のパターン層部を設けることは、当業者にとって自明である。

### 請求の範囲1,4

文献4には、透光性のパターン層部、光透過制限層部及び発光部を、この順で備えた表示構造体が記載されている。

よって文献4に記載された表示構造体に文献1又は2に記載された第1のパターン層部を設けること、またこれを設ける位置を透光性のパターン層部と光透過制限層部との間とすることは、当業者にとって自明である。

#### 請求の範囲3

請求の範囲3に記載された発明は、文献1-4のいずれにも記載されておらず、当 / 業者にとって自明のものでもない。